

目次

第1部 特集・トピックス

特集

技術革新による社会の変容と警察の新たな展開…………… 1

特集に当たって…………… 1

第1節 技術革新に伴う現代社会における脅威…………… 2

第1項 先端技術等の悪用により深刻化する現代社会における脅威と対策…………… 2

(1) 深刻化するサイバー空間における脅威と対策…………… 2

(2) 先端技術等を悪用したテロ等の脅威と対策…………… 7

MEMO 小型無人機等所有者情報等照会システムの導入…………… 8

MEMO 化学テロの現場で神経剤を簡単に検知できる検査チップの開発…………… 9

MEMO 安全かつ効果的なRNテロ対処訓練用資機材の活用…………… 9

第2項 経済安全保障に関する取組…………… 10

(1) 技術情報等の流出の脅威…………… 10

(2) 技術情報等の流出防止に向けた取組…………… 11

第2節 先端技術等の活用による警察活動の高度化・合理化…………… 12

第1項 現代における警察の課題と先端技術等の活用…………… 12

(1) 少子高齢化等の進展による社会構造の変容に適応するための
イノベーション…………… 12

(2) 近年大きく変容する国民生活の実相に適応し続けるための警察行政の
実現…………… 12

第2項 AIをはじめとする先端技術等の活用による警察力の強化に向けた取組…………… 13

(1) 先端技術を用いた実証実験等…………… 13

MEMO 加齢による顔の変化の推定…………… 15

(2) 関係機関と連携した先進研究…………… 16

MEMO 警察用航空機（ヘリコプター）や無人航空機（ドローン）の
運用能力向上に向けた取組…………… 16

(3) 諸外国の法執行機関における取組の例…………… 16

第3項 国民の利便性向上・負担軽減に向けた取組…………… 18

(1) 警察行政手続のデジタル化…………… 18

(2) 刑事手続における情報通信技術の活用…………… 19

(3) 国民と警察を結ぶツールの高度化…………… 20

(4) 警察情報管理システムの合理化・高度化…………… 20

第4項 先端技術等の活用による警察活動の高度化・合理化の推進に向けて…………… 21

(1) 警察庁長官官房技術組織の新設…………… 21

(2) 警察の責務を果たし続けるための取組の推進…………… 21

第3節 今後の展望…………… 22

第1項 警察における科学技術政策の総合的かつ強力な推進…………… 22

第2項 デジタル社会の安全・安心の確保…………… 23

警察活動の最前線…………… 24

トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

トピックスⅠ 2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会に伴う警察活動・・・ 26

- (1) 2020年東京大会をめぐる情勢・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- (2) 警察の総力を挙げた取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
 - MEMO 会場周辺空域の安全確保（空域統制所の設置）・・・・・・・・ 27
- (3) 大規模行事に伴う警備諸対策に関する今後の展望・・・・・・・・ 27

トピックスⅡ 我が国におけるマナー・ローンダリング対策・・・・・・・・ 28

- (1) マナー・ローンダリング対策の概要・・・・・・・・ 28
 - MEMO FATF第4次対日相互審査の結果と行動計画の取りまとめ・・・・・・・・ 29
- (2) 警察の取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
 - MEMO マナー・ローンダリング事犯に係る捜査の強化等・・・・・・・・ 29

トピックスⅢ 科学的知見を活用した犯罪死見逃し防止のための取組・・・・・・・・ 30

- (1) 警察における死体取扱業務・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- (2) 警察における犯罪死見逃し防止のための主な取組・・・・・・・・ 30

トピックスⅣ 通学路等における交通安全の確保及び飲酒運転の根絶・・・・・・ 32

- (1) 交通事故情勢・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- (2) 通学路等における交通安全の確保・・・・・・・・・・・・ 32
- (3) 飲酒運転の根絶・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

警察活動の最前線 ～警察活動に用いる乗り物～・・・・・・・・ 34

警察活動の最前線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

第2部 本編

第1章 警察の組織と公安委員会制度・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

第1節 警察の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

- (1) 公安委員会制度・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- (2) 国の警察組織・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- (3) 都道府県の警察組織・・・・・・・・・・・・ 39

第2節 公安委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

- (1) 国家公安委員会・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- (2) 都道府県公安委員会・・・・・・・・・・・・ 41
- (3) 苦情処理及び監察の指示・・・・・・・・ 42
- (4) 公安委員会相互間の連絡・・・・・・・・ 43

公安委員の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

第2章 生活安全の確保と犯罪捜査活動・・・・・・・・・・・・ 45

第1節 犯罪情勢とその対策・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

第1項 刑法犯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

(1) 刑法犯の認知・検挙状況	47
(2) 刑法犯による身体的被害の状況	47
(3) 重要犯罪の認知・検挙状況	48
第2項 人身安全関連事案の現状と対策	51
(1) 現状	51
(2) ストーカー事案・配偶者からの暴力事案等への対策	52
(3) 児童虐待防止対策	55
第3項 子供の安全を守るための取組	56
(1) 子供を犯罪から守るための取組	56
(2) いじめ事案への対応	57
(3) 少年の福祉を害する犯罪への対策と有害環境対策	58
MEMO 「第6回子供の性被害防止セミナー」の開催	60
(4) 少年の犯罪被害への対応	60
第4項 国民の財産を狙う事犯への対策	61
(1) 財産犯の被害額の罪種別状況	61
(2) 特殊詐欺への対策	61
MEMO 「ATMでの携帯電話の通話は、しない、させない」取組	62
(3) 侵入窃盗対策	63
(4) 侵入強盗対策	63
(5) 自動車盗対策	64
(6) 自転車盗対策	64
(7) 万引き対策	65
(8) ひったくり対策	65
(9) 悪質商法事犯対策	66
(10) 通貨偽造犯罪対策	67
(11) カード犯罪対策	68
(12) ヤミ金融事犯対策	68
(13) 知的財産権侵害事犯対策	69
第5項 構造的な不正事案への対策	70
(1) 政治・行政をめぐる不正事案	70
(2) 経済をめぐる不正事案	71
第6項 国民の健康を害する事犯への対策	72
(1) 保健衛生事犯対策	72
(2) 食の安全に係る事犯対策	72
第7項 良好な生活環境の保持	73
(1) 風俗営業等の状況	73
(2) 売春事犯及び風俗関係事犯の現状	74
(3) 人身取引事犯等への対策	75
(4) 銃砲等及び刀剣類の適正管理と危険物対策	76
(5) 環境事犯対策	77
(6) 探偵業の状況	77
第2節 警察捜査のための基盤整備	78
第1項 犯罪捜査に関する各種取組	78
(1) 取調べの録音・録画に係る取組	78
(2) 通信傍受の有効かつ適正な実施	78

(3) 初動捜査における客観証拠の収集	78
(4) 国民からの情報提供の促進	79
(5) 緻密で適正な捜査の徹底	79
(6) 捜査技能の伝承	80
(7) 犯罪インフラ対策の推進	81
第2項 科学技術の活用	82
(1) DNA型鑑定	82
(2) デジタル・フォレンジック	83
(3) 指掌紋自動識別システム	83
(4) 防犯カメラ画像の活用	84
(5) 情報分析支援システム (CIS-CATS)	85
(6) 自動車ナンバー自動読取システム	85
(7) プロファイリング	85
第3節 地域住民の安全安心確保のための取組	86
第1項 交番・駐在所の活動	86
(1) パトロール、立番等	86
MEMO 交番等の安全確保に向けた取組	87
(2) 地域住民と連携した活動	87
(3) 交番等における外国人への対応	88
MEMO ウクライナ避難民向け防犯パンフレット	88
(4) 遺失物の取扱い	88
第2項 事件・事故への即応	89
(1) 110番通報	89
(2) 通信指令	89
(3) 初動警察活動の強化	90
(4) 鉄道警察隊の活動	90
(5) パトカーの活用	91
(6) 警察用船舶の活用	91
(7) 山岳遭難及び水難に対する警察活動	91
第3項 相談業務の充実強化	92
(1) 相談取扱いの現状	92
(2) 相談受理体制	92
(3) 相談内容に応じた適切な対応の推進	92
(4) 認知症に係る行方不明者への対策	92
第4節 良好な治安確保のための基盤構築に向けた取組	93
第1項 犯罪防止に向けた取組	93
(1) 地域社会との協働	93
(2) 犯罪防止に配慮した環境設計	95
第2項 警備業、古物営業及び質屋営業の状況	96
(1) 警備業の状況	96
(2) 古物営業及び質屋営業の状況	96
第3項 少年非行防止に向けた取組	97
(1) 少年非行の現状	97
(2) 非行少年を生まない社会づくり	99
(3) 学校その他関係機関との連携確保	100

(4) 少年警察ボランティアとの連携	100
(5) 少年事件対策	100

第5節 犯罪被害者等支援 101

第1項 警察による犯罪被害者等支援	101
(1) 基本施策	101
(2) 犯罪被害給付制度・国外犯罪被害弔慰金等支給制度	101
(3) 犯罪被害者等の特性に応じた施策	102
(4) 関係機関・団体との連携	102
MEMO 被害者支援地域ネットワークにおけるシミュレーション検討会の実施	102
第2項 第4次犯罪被害者等基本計画の推進	103
MEMO 犯罪被害者週間について	103

警察活動の最前線 警察による犯罪被害者支援の例 104

警察活動の最前線 106

第3章 サイバー空間の安全の確保 107

第1節 サイバー空間における脅威 108

第1項 サイバー事案の検挙状況	108
(1) 不正アクセス禁止法違反	108
(2) コンピュータ・電磁的記録対象犯罪	108
(3) サイバー犯罪の検挙件数の推移	108
第2項 インターネットバンキングに係る不正送金事犯の情勢	109
第3項 ランサムウェアの情勢	110
第4項 サイバー攻撃の情勢	111
(1) サイバーテロの情勢	111
(2) サイバーインテリジェンスの情勢	111

第2節 サイバー空間における脅威への対処 112

第1項 サイバー事案への対策	112
(1) 不正アクセス対策	112
(2) インターネットバンキングに係る不正送金事犯への対策	112
(3) インターネット上の違法情報・有害情報対策	112
(4) ランサムウェア対策	113
MEMO 医療機関におけるランサムウェアによる被害の防止対策	113
(5) 国境を越えて敢行されるサイバー攻撃への対策	114
MEMO APT40に関するパブリック・アトリビューション及び注意喚起	114
第2項 技術支援と解析能力の向上	115
(1) サイバー事案対策におけるサイバーフォースの役割	115
(2) サイバー事案の予兆・実態等の把握	116
(3) サイバー事案への対処のための不正プログラムの解析	118
(4) サイバー事案の取締りへの技術支援	119
(5) 解析能力向上のための取組	119
第3項 警察における人材育成の推進	120
(1) サイバー空間における脅威への対処に係る人材育成	120
(2) 捜査員等に対する実践的研修	120

MEMO サイバーセキュリティ対策研究・研修センター解析研究室における取組	120
MEMO サイバーセキュリティコンテストの開催	120
第4項 国際連携の推進	121
(1) 外国捜査機関等との連携の推進	121
MEMO ランサムウェアに関するG7高級実務者会合	121
(2) 国際協力の推進	121
第5項 官民連携の推進	122
(1) 日本サイバー犯罪対策センターとの連携	122
(2) サイバー防犯ボランティアに対する支援	122
(3) サイバーテロ対策協議会	123
(4) サイバーインテリジェンス情報共有ネットワーク	123
(5) 不正プログラム対策協議会	123
(6) 不正通信防止協議会	123
(7) 高度な研究開発等を行う大学を標的としたサイバー事案への対策の推進	123
(8) 事後追跡可能性の確保に向けた取組の推進	123
警察活動の最前線	124

第4章

組織犯罪対策 125

第1節 暴力団対策 126

第1項 暴力団情勢	126
(1) 暴力団構成員及び準構成員等の推移	126
(2) 暴力団の解散・壊滅	126
(3) 暴力団の指定	126
第2項 暴力団犯罪の取締り	127
(1) 検挙状況	127
(2) 対立抗争事件等の発生	128
(3) 資金獲得犯罪	128
第3項 暴力団対策法の運用	129
MEMO 六代目山口組と神戸山口組の対立抗争と暴力団対策法の活用	129
第4項 暴力団排除活動の推進	130
(1) 国及び地方公共団体における暴力団排除活動	130
(2) 各種事業・取引等からの暴力団排除	130
(3) 地域住民等による暴力団排除活動	130
MEMO 指定暴力団の代表者等に対する損害賠償請求訴訟の支援	130
(4) 地方公共団体における暴力団排除に関する条例の運用	131
(5) 暴力団員の社会復帰対策の推進	131
第5項 準暴力団等の動向と警察の取組	132
(1) 準暴力団等の動向と特徴	132
(2) 警察の取組	133
MEMO 準暴力団等の排除に向けた取組	133

第2節 薬物銃器対策 134

第1項 薬物情勢	134
(1) 犯罪組織等の動向	134

(2) 薬物密輸入事犯の検挙状況	134
(3) 薬物事犯別の検挙状況	135
第2項 薬物対策	136
(1) 供給の遮断	136
(2) 需要の根絶	136
第3項 銃器情勢とその対策	137
(1) 銃器情勢	137
(2) 銃器対策	137
第3節 来日外国人犯罪対策	138
第1項 来日外国人犯罪の情勢	138
(1) 来日外国人犯罪の組織化の状況	138
(2) 組織の特徴	138
(3) 犯罪インフラの実態	138
第2項 来日外国人犯罪の検挙状況	139
(1) 全般的傾向	139
(2) 国籍・地域別検挙状況	139
第3項 国際組織犯罪に対処するための取組	140
(1) 国内関係機関との連携	140
(2) 外国捜査機関等との連携	140
(3) 国外逃亡被疑者等の追跡	141
第4節 犯罪収益対策	142
第1項 犯罪収益移転防止法に基づく活動	142
(1) 犯罪収益移転防止法の適切な履行を確保するための措置	142
(2) 疑わしい取引の届出	142
第2項 マネー・ローンダリング事犯の検挙状況	143
第3項 犯罪収益の剥奪	144
(1) 没収・追徴の状況	144
(2) 起訴前の没収保全	144
第4項 国際連携	145
(1) APGの活動と警察庁の参画状況	145
(2) エグモント・グループの活動と警察庁の参画状況	145
(3) 外国のFIUとの情報交換	145
警察活動の最前線	146

第5章

安全かつ快適な交通の確保 147

第1節 交通事故情勢	148
第1項 交通事故の現状	148
(1) 令和3年(2021年)の概況	148
(2) 過去10年間の死者数等の推移	148
(3) 状態別・類型別の特徴	149
(4) 時間帯別・月別の特徴	149
第2節 交通安全意識の醸成	150

第1項	交通安全教育と交通安全活動	150
(1)	交通安全教育	150
(2)	交通安全活動	150
	MEMO 地域に根ざした交通安全活動	
	(広島県安佐北交通安全協会会長 上田 秀信)	150
第2項	高齢者の交通安全の確保	151
(1)	高齢者が関係する交通事故の特徴	151
(2)	高齢者の交通事故防止対策	151
第3項	子供の交通安全の確保	152
(1)	子供が関係する交通事故の特徴	152
(2)	子供の交通安全教育	152
	MEMO 歩行者優先と正しい横断に向けた取組	153
第4項	自転車の安全利用の促進	154
(1)	自転車関連交通事故の状況	154
(2)	良好な自転車交通秩序の実現のための対策	154
第5項	新たなモビリティを含めた多様な交通主体の交通ルールの整備	155
(1)	新たなモビリティ	155
(2)	新たなモビリティに係る交通ルールの整備	155
第3節	きめ細かな運転者施策による安全運転の確保	156
第1項	運転者教育	156
(1)	運転者教育の体系	156
(2)	運転免許を受けようとする者に対する教育の充実	156
(3)	運転免許取得後の教育の充実	157
第2項	高齢運転者の交通事故防止対策の推進	158
(1)	高齢運転者に対する教育等の現状	158
(2)	運転免許証の自主返納(申請による運転免許の取消し)等	159
(3)	高齢運転者に係る安全運転相談の充実・強化	159
第3項	様々な運転者へのきめ細かな対策	160
(1)	運転者の危険性に応じた行政処分の実施	160
(2)	安全運転相談の充実等	160
(3)	国際化への対応	161
(4)	運転免許手続等の利便性の向上と国民負担の軽減	161
	MEMO 第二種免許等の受験資格の見直し	161
(5)	運転者の特性に応じた運転者標識	161
第4節	交通環境の整備	162
第1項	交通実態を踏まえた交通環境の整備	162
(1)	交通安全施設等整備事業の推進	162
(2)	交通管制システムの整備	163
(3)	交通実態の変化等に即した交通規制	163
(4)	交通管理等による環境対策	164
(5)	警察による交通情報提供	164
	MEMO 信号灯器のLED化の推進	164
第2項	道路交通環境の整備による歩行者等の安全通行の確保	165
(1)	バリアフリー対応型信号機等の整備の推進	165
(2)	自転車通行空間の整備	165

第3項	総合的な駐車対策	166
(1)	違法駐車の状態	166
(2)	駐車対策の推進	166
	MEMO 自動車保有関係手続のワンストップサービスの推進	166
第4項	高速道路における交通警察活動	167
(1)	高速道路ネットワークと交通事故の状態	167
(2)	高速道路における交通の安全と円滑の確保	167
	MEMO 高速道路における100キロメートル毎時を超える最高速度規制	167
第5項	ITSの推進と自動運転の実現に向けた取組	168
(1)	ITSの推進	168
(2)	自動運転の実現に向けた取組	169
第5節	道路交通秩序の維持	170
第1項	交通事故抑止に資する交通指導取締り	170
(1)	交通事故分析に基づく交通指導取締り	170
(2)	悪質性・危険性・迷惑性の高い運転行為への対策	170
(3)	使用者等の責任追及等	171
(4)	暴走族等対策	171
第2項	適正かつ緻密な交通事故事件捜査	172
(1)	交通事故事件の検挙状況	172
(2)	適正かつ緻密な交通事故事件捜査	172
(3)	交通事故事件捜査の科学化・合理化	172
	MEMO 事故情報計測・記録装置の活用	173
(4)	交通事故被害者等の支援	173
	警察活動の最前線	174

第6章

公安の維持と災害対策 175

第1節	国際テロ情勢と対策	176
第1項	国際テロ情勢	176
(1)	イスラム過激派	176
(2)	日本赤軍と「よど号」グループ	177
(3)	北朝鮮	178
第2項	国際テロ対策	180
(1)	テロの未然防止のための具体策	180
	MEMO 官民連携ネットワークの枠組みを活用した合同訓練の実施	181
(2)	テロ対処体制の強化	182
(3)	原子力関連施設におけるテロ対策	183
第2節	外事情勢と諸対策	184
(1)	中国の動向	184
(2)	ロシアの動向	185
(3)	北朝鮮の動向	186
第3節	公安情勢と諸対策	188
第1項	オウム真理教の動向と対策	188

(1) オウム真理教の動向	188
(2) オウム真理教対策の推進	188
第2項 極左暴力集団の動向と対策	189
(1) 極左暴力集団の動向	189
(2) 極左暴力集団対策の推進	189
第3項 右翼等の動向と対策	190
(1) 右翼の動向と対策	190
(2) 右派系市民グループをめぐる情勢と警察の対応	191
第4項 日本共産党の動向	192
(1) 党創立100周年に向けた党勢拡大の取組	192
(2) 第49回衆議院議員総選挙での野党共闘	192
(3) 関係団体との連携	192
第5項 大衆運動への警察の対応	193
(1) 近年の大衆運動	193
(2) 沖縄県内の反基地運動	193
(3) 反グローバルイズム運動	193
第4節 災害等への対処と警備実施	194
第1項 自然災害等への対処	194
(1) 自然災害の発生状況と警察活動	194
(2) 大規模災害への備え	195
第2項 警備実施	196
(1) 警衛・警護	196
(2) 機動隊の活動	197
(3) 雑踏警備	197
(4) 警察用航空機（ヘリコプター）の活用	197
警察活動の最前線	198

第7章

警察活動の支え 199

第1節 警察活動の基盤	200
第1項 警察の体制	200
(1) 定員	200
(2) 警察力強化のための取組	200
(3) 女性警察官の採用・登用の拡大	200
(4) 教育訓練	201
(5) 警察職員の殉職・受傷	201
第2項 警察の予算と装備	202
(1) 警察の予算	202
(2) 警察の装備	202
第3項 管区警察局の活動	203
(1) 管区警察局の役割	203
(2) 管区警察局の主な業務	203
第4項 警察の情報通信	204
(1) 警察活動を支える警察情報通信	204
MEMO 高度警察情報通信基盤システム（PⅢ）の現場での活用状況	205

(2) 機動警察通信隊の活動	205
(3) 情報管理の徹底	205
第5項 留置施設の管理運営	206
(1) 留置施設の管理運営	206
(2) 被留置者の収容状況	207
第6項 皇宮警察本部の活動	208
MEMO 特別警備隊	208
第7項 研究機関の活動	209
(1) 警察政策研究センター	209
(2) 警察情報通信研究センター	210
(3) 科学警察研究所	210
第2節 国民の期待と信頼に応えるための警察運営	212
第1項 国民の期待と信頼に応える警察	212
(1) 監察の実施と苦情を活用した業務改革の推進	212
(2) 適正な予算執行の確保	212
(3) 良好な治安の確保のための政府を挙げた対策と警察の取組	212
第2項 国民に開かれた警察活動	213
(1) 警察署協議会	213
MEMO 国際化における地域の安全・安心について (山口県岩国警察署協議会会長 杉岡 滋)	213
(2) 情報公開制度	213
(3) 個人情報保護	213
(4) 政策評価	213
第3節 国際的な警察活動	214
(1) 国際的な犯罪に対する外国治安機関等との連携	214
(2) 治安に関する国際約束の締結	214
(3) 国際協力の推進	215
MEMO 新型コロナウイルス感染症の影響下での活動	215
(4) 国際的な警察活動に関する基盤整備	215
警察活動の最前線	216

資料編 217

1 令和3年中の組織改正と法令の制定	218
2 令和3年中の主な出来事	219
3 令和3年都道府県別統計資料	222

※ 本書における用語等の意義について（凡例）は、224、225、226頁参照